

青年対策交流集会報告書

東北地方青年婦人部塩釜支部塩釜分会

幹事 大宮晴翔

私は今回初めて全港湾青年対策交流集会に参加しました。参加前はそもそも青対とは何か、全国から集まる方々と上手く交流することができるのかと不安がありました。ですが3日間の活動を通して、各班に別れて意見を語り合ったり一緒に酒を飲むことで徐々に打ち解けていくことができました。レクリエーションのドッチボールもとても盛り上がり、横の繋がりを体感することができました。

名古屋支部の受け入れで開催された今回の青対では「全港湾の歴史」について鈴木本部執行委員長より、「青年婦人部の歴史とこれからの全港湾について」松永本部書記長より講義を受けました。そこから各班に別れ感じたことやこれからの課題について意見交換することで自分にはない考えなどを聞くことができました。個人的には、日本の物流の99%を占める海運を支える港湾労働者をこれからどう増やしていくか。また戦後の日本と全港湾という組織ができた経緯を知れたことで、これから日本が同じ過ちを繰り返さないように、全国の仲間たちと共にどのような活動ができるのか考えていきたいと思います。